

## 「読んで分かる 中世鎌倉年表」正誤表

次のとおり誤り、および補注を付すべき部分がありましたので、お知らせいたしますとともに、お詫び申し上げます。

なお、「読んで分かる中世鎌倉年表」の記載内容や正誤表に関するお問い合わせは、下記の編集・発行元までお願い致します。

平成25年7月30日現在

ページ数	項目NO.	見出し年号	対象箇所	誤	正
P23	下欄脚注2行目	—	梶原景時没年	1220年	1200年
P33	1	承久元年(1219)1月29日	見出し日付	1月29日	1月27日
P56	5,6	建治元年(1275)9月7日／ 建治元年(1275)8月12日	掲載順序	—	※日付順通りに項目を並べ替え
P98	10	明応7年(1498)4月28日	1行目	—	※補注:近年の研究では、鎌倉建長寺の住持職を安堵したのは「古河公方足利政氏」ではなく、「室町幕府第11代将軍足利義澄」とみなされている。
P98	10	明応7年(1498)4月28日	脚注:「玉隠英瑛」の項、本文1行目	臨濟宗大覚寺派	臨濟宗大覚派
P105	26	天文23年(1554)11月7日	見出し年号・および本文1行目	—	※補注:近年の研究では、足利義氏の元服は、弘治元年(1555)11月中旬、下総国葛西城(現東京都葛飾区)で行われたことが確実視されている。
P111	—	—	足利家略系図	—	足利家略系図の古河公方「政氏」の弟になっている「顕美」は、弟ではなく、政氏の次子、すなわち「高基」の弟となる。

### 【お問い合わせ先】

かまくら春秋社(編集・発行)

TEL:0467-25-2864

FAX:0467-60-1205